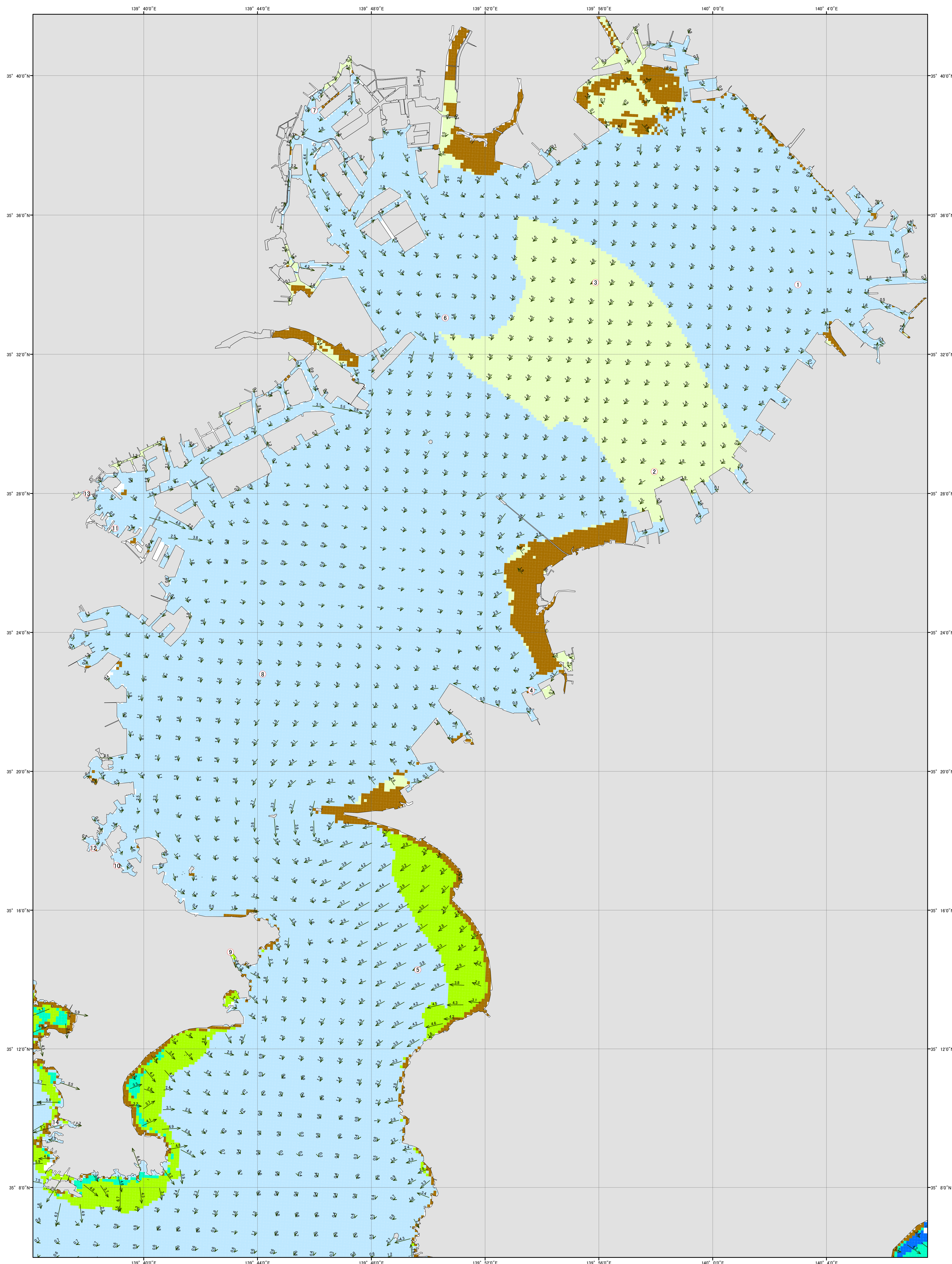


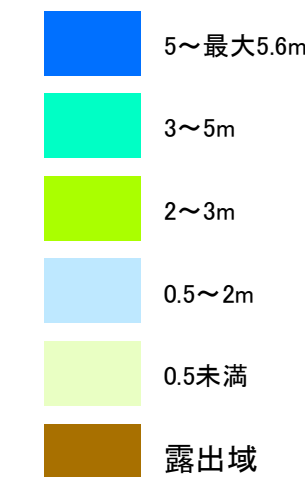
# 東京湾 広域津波防災情報図 (引潮図)

計算条件: 最低水面 (零位)  
 Zo: 0.90m ~ 1.20m  
 隆起量: 平均 -9cm (-11cm ~ -5cm)  
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



## 凡例

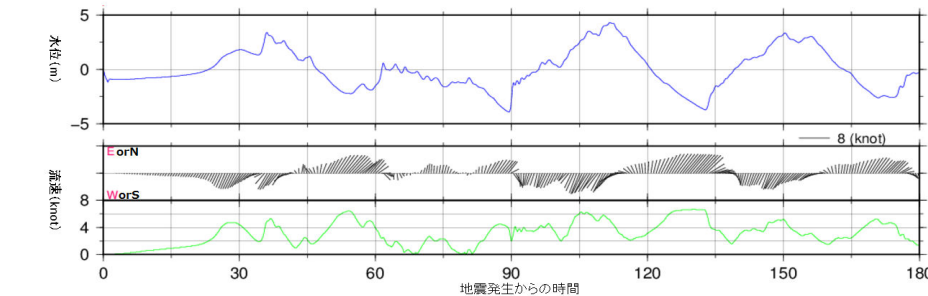
最大水位低下



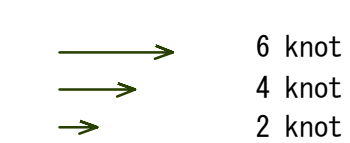
経時変化出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

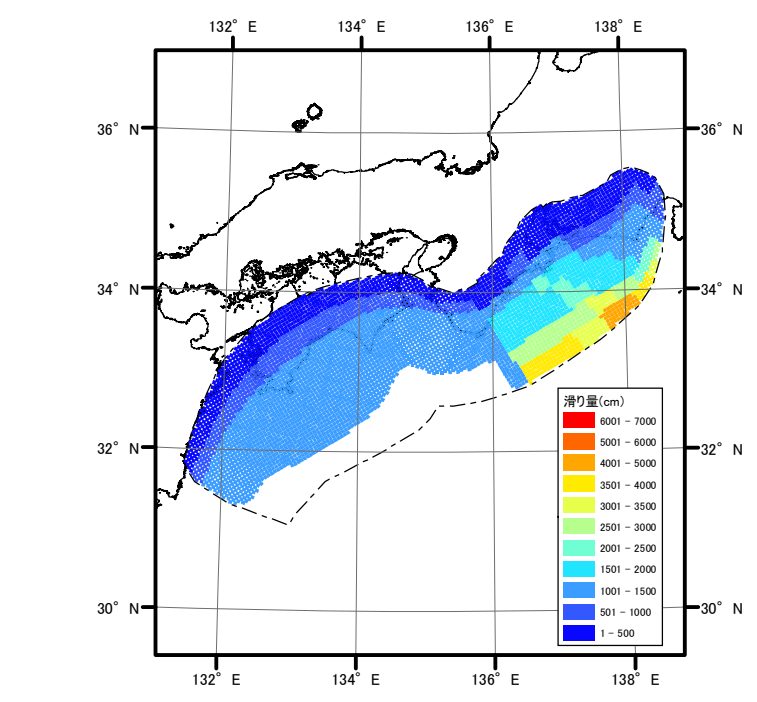
(91) 水位、流向・流速経時変化図



引潮時最大流 [knot]



断面モデル



ケース①「駿河湾～紀伊半島沖に『大すべり域+超すべり』」

断面面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.1 X 10 <sup>27</sup>
平均すべり量 D (m)	10.3
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会 (第二次報告) (平成24年8月29日発表)」により公表されたものである。  
 使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

